

【備蓄米】全国の入札米店頭価格、5kg税抜は最低2,980円／最高4,480円



政府備蓄米と推察できる米について、最新の都道府県別店頭価格を公表。全国334店舗を対象に実地調査したもので、原則5月29日時点の価格。全量が入札米。(6/2農水省発表) 現在は、随意契約による備蓄米が販売スタート。5kg2000円台で販売されており、入札による販売価格との価格差が生じることになる。

円(税抜き)					円(税抜き)					円(税抜き)				
都道府県	店舗数	最低価格	中央値	最高価格	都道府県	店舗数	最低価格	中央値	最高価格	都道府県	店舗数	最低価格	中央値	最高価格
北海道	13	2,980	3,215	3,680	石川県	10	3,280	3,280	3,980	岡山県	5	3,280	3,880	3,980
青森県	5	3,280	3,380	3,880	福井県	9	3,000	3,280	3,680	広島県	9	3,370	3,425	3,480
岩手県	5	3,480	3,480	3,480	山梨県	6	3,490	3,744	3,998	山口県	7	3,180	3,330	3,480
宮城県	9	3,280	3,290	3,680	長野県	5	2,990	3,280	3,680	徳島県	6	3,380	3,980	4,250
秋田県	6	3,180	3,280	3,680	岐阜県	5	4,170	4,170	4,170	香川県	6	3,239	3,680	4,280
山形県	5	3,180	3,680	3,780	静岡県	7	4,280	4,280	4,280	愛媛県	5	3,239	3,330	3,780
福島県	6	3,280	3,280	3,480	愛知県	8	3,580	3,580	3,580	高知県※6	6	3,980	3,980	3,980
茨城県	5	3,280	3,730	4,180	三重県	5	4,280	4,280	4,280	福岡県	10	3,998	4,039	4,080
栃木県	6	3,280	3,548	3,780	滋賀県※5	5	3,580	3,580	3,580	佐賀県	5	3,480	3,590	3,699
群馬県	5	3,402	3,980	4,090	京都府	5	3,580	3,780	3,980	長崎県	5	3,580	3,580	3,580
埼玉県	5	3,498	3,580	3,899	大阪府	13	3,380	3,639	3,899	熊本県	5	3,599	3,690	3,780
千葉県	11	3,380	3,580	3,796	兵庫県	5	3,580	3,580	3,580	大分県	6	3,299	3,580	3,799
東京都	13	3,480	3,589	3,780	奈良県	5	3,300	3,590	3,880	宮崎県	6	3,380	3,380	3,380
神奈川県	7	3,799	3,799	3,799	和歌山県	5	3,698	3,989	4,480	鹿児島県	12	3,380	3,580	3,685
新潟県	14	3,280	3,580	4,090	鳥取県	13	3,380	3,733	4,380	沖縄県	8	3,680	3,680	3,680
富山県	7	3,280	3,380	3,480	島根県	5	3,480	3,980	4,280					
										全国店舗数		全国最低価格		全国最高価格
										334		2,980		4,480

※1 農林水産省職員による米売場の店頭調査(原則5月29日)等に基づき記載。
※2 調査対象の商品は、販売者等へのヒアリング等に基づき、備蓄米を含む複数原料米又は備蓄米の単一原料米と推察される5kg袋のもの。
※3 調査対象の店舗は、農林水産省の地域拠点等の所在する都市(県庁所在地等)及びその周辺における一般的な量販店(スーパーマーケット、ドラッグストア等)から選定されたもの。
※4 調査対象店舗、調査対象商品等の個仕情報、調査結果の個別情報等については、非公表。
※5 滋賀県については、店頭での在庫切れ等によって、該当商品そのものを確認できなかったが、価格表示プライス等から確認できた情報に基づき記載。
※6 高知県については、販売されていた商品が政府備蓄米を含むものかどうかを確認することはできなかったことから、店頭で販売されていた最低価格商品を記載。

令和7年産情報

水田における作付意向について(令和7年産第2回中間的取組状況(令和7年4月末時点))

【概要】

- ・主食用米の作付意向が増加(131.7万ha)。備蓄米(1.7万ha)(※)と合わせ133.4万ha(対前年7.5万ha増)
- ・平年単収(539kg/10a)で生産量を計算すると719万トン(対前年40万トン増)
- ・過去5年で最大の生産面積(増加の伸びも生産量調査を開始した平成16年産以降、最大)(※)備蓄米は、7年産米の入札を当面中止。

令和3年 130.3万ha (701万t)、令和4年 125.1万ha(670万t)、令和5年 124.2万ha(661万t)、令和6年 125.9万ha(679万t)、令和7年 133.4万ha(679万t)。令和7年は、前年に比べ +7.5万ha (+40万トン) 万ha
■生産者への実態調査結果で、令和7年産主食米の作付面積を増やすが 33.9%、また、販路では直販を増やすが31.5%。作付けが増えすぎて、需給のバランスが崩れないければよいのですが。